

## 基調講演

# 「中途退学問題の処方箋」 ＝支援・対応策をメンタルヘルスの視点から考える＝

退学者（休学者）の問題は専門学校、大学にとって永遠のテーマです。人間関係の悩みや学習意欲の喪失、心の問題などからの退学にどう対応すべきなのか。学校側にとっても、退学者の増加は経営上の損失となり、特に小・中規模の専門学校においては大きな経営上の悩みとなっています。アフターコロナの教育現場では学生の気質も変化、問題背景や要因はより多様化していますが、原因となるもののひとつにメンタル不調、コミュニケーション障害の問題があります。

改めて実態を認識するとともに、退学防止となるポイントを整理し、早期発見の大切さや学生の変化への気づき、モチベーション向上のヒント、効果的なコミュニケーションのとり方や働きかけなどについて考えていきます。

## 講演概要

廣川進先生の専門領域は、産業メンタルヘルス、惨事ストレス、そしてキャリアカウンセリングです。学校や企業での現場経験を踏まえた＜問題提起＞と、その＜背景説明＞、＜解説＞という流れを通して、学生への支援の必要性について整理し、理解を深めていきます。

- ＜問題提起＞ 退学（休学）理由の分析と教育現場の現状
- ＜背景説明＞ 現代の学生気質、うつ傾向、適応障害や発達障害の傾向
- ＜解説＞ どう学生と向き合うのか。解決策と対応策。  
具体的なケーススタディや防止策、授業デザインの提案等
- ＜まとめとリフレクション＞

## 廣川進先生のプロフィール概要

法政大学 キャリアデザイン学部 教授（公認心理師・臨床心理士・文学博士）  
1959年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、株式会社ベネッセホールディングスにて、雑誌編集（『ひよこクラブ』の創刊等）の傍ら、大正大学大学院臨床心理学専攻修士・博士課程を修了。人事部に異動後は衛生管理者としてヘルスケア部門を立ち上げる。2001年退社後、大正大学心理社会学部臨床心理学科教授を経て現職。他、海上保安庁（惨事ストレス対策アドバイザー）などの官公庁や企業、クリニック等で非常勤カウンセラーとして勤務を経験。「職場のメンタルヘルス」「リーダーシップとモチベーション」、「キャリアコンサルタント養成講座」などの研修講師も勤める。

### ＜主な著書＞

- ・「心理カウンセラーが教える「がんばり過ぎて疲れてしまう」が楽になる本」  
ディスカヴァー・トゥエンティワン
- ・「これで解決！シゴトとココロの問題」労働新聞社
- ・「失業のキャリアカウンセリング 再就職支援の現場から」金剛出版
- ・「キャリア・カウンセリング エssenシャルズ400」金剛出版